

こうかりよくすいちょう
光花緑水調

加羅古呂庵 一泉

こう か りよくす いちよう
光花緑水調

その川は、平坦な土地の中をゆったりと流れています。周辺は都市開発が進み、遠くに電車が走る姿が見えますが、この川の周囲は田園地帯が広がっています。

今は平凡な川に見えますが、はるか昔からその水によって人々が生活し、田畑に水を汲んで農作物が作られ、下流では水運によって物資が行きかう川であったようです。

穏やかな陽の光が降り注ぐ中、川の土手や畦道には四季折々に草花が咲き乱れます。大雨の水の流れに耐えて育った木々が、緑の葉を繁らせています。水面はきらきらと光り、鴨や白鷺が遊びます。足を運ぶたびに風景は少しずつ変わっていくのですが、天気の良い日に訪れるせいか、川はいつも坦々と穏やかに流れています。

「陽光の段」「香花の段」「緑樹の段」「輝水の段」の4つの部分から構成しました。

1尺8寸管
尺八I
口 ピ

1尺8寸管
尺八II
口 ピ

花雲調子
箏 I
三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

花雲調子
箏 II
三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

十七絃
二 三 五 七 九 1 3 5 7

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけっこうです。